

『小児慢性特定疾病 —診断の手引き—』

正誤表

このたびは上記書籍をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書（2016年1月30日発行）に以下の誤りがございました。

訂正させていただきますとともに、謹んでお詫び申し上げます。

2016年10月
診断と治療社 編集部

2 慢性腎疾患

箇所	誤	正
p.116 「表2 本疾患群における対象基準一覧」内の細分類27 腎動静脈瘻の「対象基準」	腎 F	腎 E

5 内分泌疾患

箇所(以下の各疾病の「当該事業における対象基準」)	誤	正
p.370 細分類26 副甲状腺機能亢進症	内 F	内 E
p.370 細分類27 副甲状腺欠損症	内 F	内 E
p.371 細分類28 副甲状腺機能低下症(副甲状腺欠損症を除く。)	内 F	内 E
p.373 細分類29 自己免疫性多内分泌腺症候群1型	内 F	内 E
p.375 細分類31 偽性偽性副甲状腺機能低下症	内 F	内 E
p.376 細分類32 偽性副甲状腺機能低下症(偽性偽性副甲状腺機能低下症を除く。)	内 F	内 E
p.429 細分類77 インスリノーマ	内 H	内 F
p.430 細分類78 先天性高インスリン血症	内 H	内 F
p.431 細分類79 77及び78に掲げるもののほか、高インスリン血性低血糖症	内 H	内 F
p.431 細分類80 ビタミンD依存性くる病	内 F	内 E
p.432 細分類81 ビタミンD抵抗性骨軟化症	内 F	内 E
p.433 細分類82 原発性低リン血症性くる病	内 F	内 E

以上

『小児慢性特定疾病 —診断の手引き—』

正誤表

このたびは上記書籍をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書（2016年1月30日発行）に以下の誤りがございました。

訂正させていただきますとともに、謹んでお詫び申し上げます。

2016年3月
診断と治療社 編集部

箇所	誤	正																		
p.349 表5 SIADH の血中尿酸値低下と尿中尿酸亢進	<p>BNP 分泌亢進による可能性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>中 Na 排泄亢進</th> <th>血中尿酸値低下と尿中尿酸亢進</th> <th>等張液輸液に対する反応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>性に Na 喪失亢進</td> <td>BNP 分泌亢進による可能性</td> <td>希釈尿の排泄と低 Na 血症改善</td> </tr> <tr> <td>外液量増加により非排泄亢進</td> <td>BNP 分泌亢進による可能性</td> <td>希釈尿の排泄と低 Na 血症改善</td> </tr> </tbody> </table>	中 Na 排泄亢進	血中尿酸値低下と尿中尿酸亢進	等張液輸液に対する反応	性に Na 喪失亢進	BNP 分泌亢進による可能性	希釈尿の排泄と低 Na 血症改善	外液量増加により非排泄亢進	BNP 分泌亢進による可能性	希釈尿の排泄と低 Na 血症改善	<p>ADH の直接作用</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>中 Na 排泄亢進</th> <th>血中尿酸値低下と尿中尿酸亢進</th> <th>等張液輸液に対する反応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>性に Na 喪失亢進</td> <td>BNP 分泌亢進による可能性</td> <td>希釈尿の排泄と低 Na 血症改善</td> </tr> <tr> <td>外液量増加により排泄亢進</td> <td>ADH の直接作用</td> <td>Na 排泄増加と水分貯留亢進による低 Na 血症増悪</td> </tr> </tbody> </table>	中 Na 排泄亢進	血中尿酸値低下と尿中尿酸亢進	等張液輸液に対する反応	性に Na 喪失亢進	BNP 分泌亢進による可能性	希釈尿の排泄と低 Na 血症改善	外液量増加により排泄亢進	ADH の直接作用	Na 排泄増加と水分貯留亢進による低 Na 血症増悪
中 Na 排泄亢進	血中尿酸値低下と尿中尿酸亢進	等張液輸液に対する反応																		
性に Na 喪失亢進	BNP 分泌亢進による可能性	希釈尿の排泄と低 Na 血症改善																		
外液量増加により非排泄亢進	BNP 分泌亢進による可能性	希釈尿の排泄と低 Na 血症改善																		
中 Na 排泄亢進	血中尿酸値低下と尿中尿酸亢進	等張液輸液に対する反応																		
性に Na 喪失亢進	BNP 分泌亢進による可能性	希釈尿の排泄と低 Na 血症改善																		
外液量増加により排泄亢進	ADH の直接作用	Na 排泄増加と水分貯留亢進による低 Na 血症増悪																		
SIADH の等張液輸液に対する反応	<p>希釈尿の排泄と低 Na 血症改善</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>中 Na 排泄亢進</th> <th>血中尿酸値低下と尿中尿酸亢進</th> <th>等張液輸液に対する反応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>性に Na 喪失亢進</td> <td>BNP 分泌亢進による可能性</td> <td>希釈尿の排泄と低 Na 血症改善</td> </tr> <tr> <td>外液量増加により非排泄亢進</td> <td>BNP 分泌亢進による可能性</td> <td>希釈尿の排泄と低 Na 血症改善</td> </tr> </tbody> </table>	中 Na 排泄亢進	血中尿酸値低下と尿中尿酸亢進	等張液輸液に対する反応	性に Na 喪失亢進	BNP 分泌亢進による可能性	希釈尿の排泄と低 Na 血症改善	外液量増加により非排泄亢進	BNP 分泌亢進による可能性	希釈尿の排泄と低 Na 血症改善	<p>Na 排泄増加と水分貯留亢進による低 Na 血症増悪</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>中 Na 排泄亢進</th> <th>血中尿酸値低下と尿中尿酸亢進</th> <th>等張液輸液に対する反応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>性に Na 喪失亢進</td> <td>BNP 分泌亢進による可能性</td> <td>希釈尿の排泄と低 Na 血症改善</td> </tr> <tr> <td>外液量増加により排泄亢進</td> <td>ADH の直接作用</td> <td>Na 排泄増加と水分貯留亢進による低 Na 血症増悪</td> </tr> </tbody> </table>	中 Na 排泄亢進	血中尿酸値低下と尿中尿酸亢進	等張液輸液に対する反応	性に Na 喪失亢進	BNP 分泌亢進による可能性	希釈尿の排泄と低 Na 血症改善	外液量増加により排泄亢進	ADH の直接作用	Na 排泄増加と水分貯留亢進による低 Na 血症増悪
中 Na 排泄亢進	血中尿酸値低下と尿中尿酸亢進	等張液輸液に対する反応																		
性に Na 喪失亢進	BNP 分泌亢進による可能性	希釈尿の排泄と低 Na 血症改善																		
外液量増加により非排泄亢進	BNP 分泌亢進による可能性	希釈尿の排泄と低 Na 血症改善																		
中 Na 排泄亢進	血中尿酸値低下と尿中尿酸亢進	等張液輸液に対する反応																		
性に Na 喪失亢進	BNP 分泌亢進による可能性	希釈尿の排泄と低 Na 血症改善																		
外液量増加により排泄亢進	ADH の直接作用	Na 排泄増加と水分貯留亢進による低 Na 血症増悪																		
p.749 右段 上から 9 行目	<p>感染症に対する…(略)…免疫グロブリン定期補充療法を行うが、現段階では IgG2 サブクラス欠損症のみ保険適用となっている。</p>	<p>感染症に対する…(略)…免疫グロブリン定期補充療法を行う。反復性気道感染を認める IgG2 欠損症 (80mg/dL 未満) では、ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン製剤の一部が 2015 年 2 月より保険適用となっている。</p>																		

以上